

造船統計速報（平成 22 年 1 月分）

平成 22 年 3 月 11 日  
 国土交通省総合政策局情報政策本部  
 情報安全・調査課交通統計室  
 担当：伊藤、小林  
 TEL:03-5253-8111(内線 28-743)

1. 概況

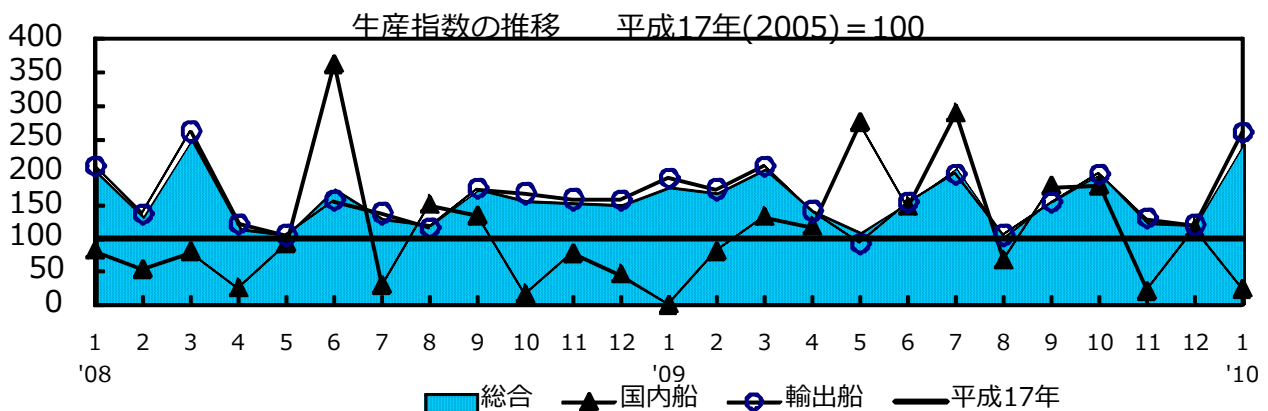
平成 22 年 1 月分の造船主要 52 工場の鋼船建造実績は、起工 24 隻、124 万 G/T、竣工 46 隻、213 万 3 千 G/T、竣工船価 2,420 億円、生産指数 240.8 であり、生産指数の前年同月比は、37.4%増であった。

このうち、国内船の竣工実績は、一般油送船 1 隻で、4 千 G/T、生産指数24.1であった。

また、輸出船の竣工実績は、パナマ・リベリア向けの一般貨物船 6 隻、パナマ・リベリア等向けのばら積み船 17 隻、シンガポール向けのコンテナ船 1 隻、ケイマン諸島向けの自動車専用船 1 隻、パナマ・シンガポール等向けの鉱石兼ばら積み船 6 隻、パナマ向けのその他貨物船 1 隻、リベリア・シンガポール等向けの一般油送船 6 隻、シンガポール・パナマ等向けの LPG 船 3 隻、パナマ・バハマ向けの化学薬品船 3 隻、パナマ向けのその他油送船 1 隻で、合計 45 隻、212 万 9 千 G/T、生産指数 260.0 であった。

鋼船修繕実績は、112 隻、工事金額 47 億円であった。

2. 生産指数の推移 平成 17 年(2005)=100



注 1 本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

注 2 生産指数は、当該月の竣工船価（合計）を、基準時（平成 17 年）の竣工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。また、累計値の生産指数は、当該月までの竣工船価（合計）を、基準時（平成 17 年）の竣工船価（合計）の月平均値に当該月数を乗じて求めた数字で除して求めた指数である。なお、本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

### 3. 鋼船建造実績

(単位：隻、G/T、千円、 指数：平成17年平均=100)

用途別		起工		竣工			生産指数(注2)	
		隻数	G/T	隻数	G/T	船価	指数	前年同月比
合計		24	1,240,381	46	2,132,991	242,029,273	240.8	137.4
国内船	小計	3	119,150	1	3,590	..	24.1	—
	貨物船	3	119,150	0	0	0	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	0	0	1	3,590	..	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—
輸出船	小計	21	1,121,231	45	2,129,401	240,059,273	260.0	—
	貨物船	16	687,681	32	1,322,994	..	—	—
	油送船	5	433,550	13	806,407	..	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—

### 4. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
合計	97	(15)	4,108,425	(547,359)
国内船	79	(15)	3,704,467	(547,359)
外国船	18	(0)	403,958	(0)

注3 結果表中の「・・」については、秘密保護上公表しないものである。

注4 鋼船修繕実績における( )内は、排水トン表示による船舶で、外数である。